

1 概況 (従業者4人以上の事業所)

一 事業所数、従業者数は2年ぶりの減少、

製造品出荷額等は3年連続増加、粗付加価値額は3年ぶりの減少 一

平成24年の従業者4人以上の事業所数は、2,391事業所で、前年に比べて7.6%減少した。

従業者数は、67,394人で、前年に比べて3.6%減少した。

製造品出荷額等は、1兆9,344億円で、前年に比べて1.1%増加した。

粗付加価値額は、8,029億円で前年に比べて1.5%減少した。

表1 事業所数、従業者数、製造品出荷額等、粗付加価値額の推移

年次	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		粗付加価値額	
		対前年比 (%)	(人)	対前年比 (%)	(百万円)	対前年比 (%)	(百万円)	対前年比 (%)
平成10年	4,168	▲ 2.5	92,102	▲ 0.8	1,943,164	▲ 4.7	870,111	▲ 5.1
11年	4,055	▲ 2.7	89,475	▲ 2.9	1,877,132	▲ 3.4	745,562	▲ 14.3
12年	3,849	▲ 5.1	86,918	▲ 2.9	1,974,347	5.2	815,105	9.3
13年	3,751	▲ 2.5	84,227	▲ 3.1	1,777,053	▲ 10.0	805,258	▲ 1.2
14年	3,390	▲ 9.6	79,077	▲ 6.1	1,687,094	▲ 5.1	775,276	▲ 3.7
15年	3,367	▲ 0.7	78,026	▲ 1.3	1,747,552	3.6	775,391	0.0
16年	3,106	▲ 7.8	76,386	▲ 2.1	1,813,319	3.8	791,956	2.1
17年	3,152	1.5	75,209	▲ 1.5	1,852,261	2.1	803,601	1.5
18年	2,897	▲ 8.1	76,585	1.8	2,018,201	9.0	823,170	2.4
19年	2,859	※▲ 6.7	78,164	※▲ 1.1	2,161,224	※ 0.4	824,182	※▲ 2.8
20年	2,891	1.1	75,468	▲ 3.4	2,095,120	▲ 3.1	801,030	▲ 2.8
21年	2,585	▲ 10.6	70,075	▲ 7.1	1,673,401	▲ 20.1	687,063	▲ 14.2
22年	2,466	▲ 4.6	69,545	▲ 0.8	1,807,006	8.0	740,257	7.7
23年	2,587	4.9	69,891	0.5	1,912,585	5.8	815,068	10.1
24年	2,391	▲ 7.6	67,394	▲ 3.6	1,934,383	1.1	802,911	▲ 1.5

※ 平成19年調査においては、調査対象事業所の精査を行うとともに、調査項目の変更が行われた結果、平成19年以降の数値と平成18年以前の数値が単純に比較できなくなった。そのため、平成19年の対前年比については、平成18年の数値との対比ができるように、平成19年の実際の数値とは別に、平成18年時の調査対象、項目に合わせた「調整値」を便宜的に集計し、算出した。

2-1 事業所数（従業者4人以上の事業所）

事業所数は2,391事業所で、前年に比べ7.6%減となり、2年ぶりの減少となった。

内訳をみると、会社（株式、合資など）が2,046事業所、組合・その他の法人が35事業所、個人が310事業所となった。

産業別に内訳をみると、繊維の611事業所（構成比25.6%）が最も多く、以下、その他（眼鏡・漆器等）の321事業所（構成比13.4%）、食料品の237事業所（構成比9.9%）の順になった。

前年と比べる（寄与度※順）と、金属（前年比+2.2%）、パルプ・紙（前年比+2.1%）など5業種で増加し、繊維（前年比▲9.6%）、その他（眼鏡・漆器等）（前年比▲9.8%）など17業種で減少となった。

【産業中分類別統計表1-1、1-2】

※ 寄与度とは、対前年比の増減に対して、規模別、中分類別の増減分がどれだけ全体に影響を与えたかを示したもの

A産業の寄与度 = A産業の対前年比増減率 × A産業の製造業に占める前年の構成比

図1 事業所数と対前年比の推移（従業者4人以上の事業所）

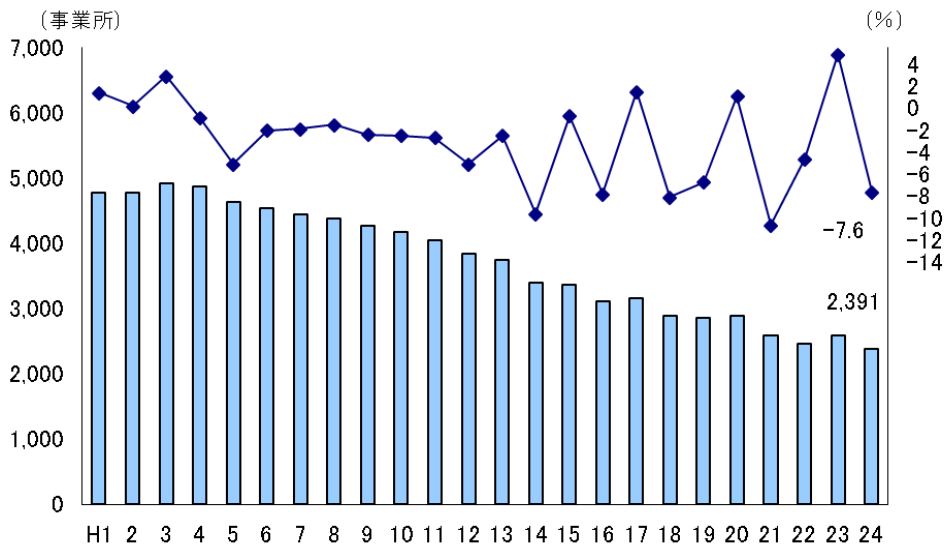
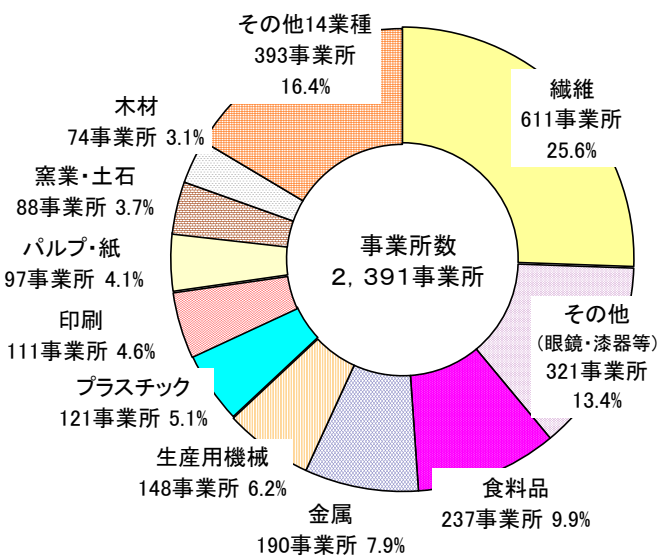


表2 中分類別 事業所数

産業中分類	23年		24年		対前年比 (%)
	実数	構成比 (%)	実数	構成比 (%)	
合計	2,587	100.0	2,391	100.0	▲ 7.6
9 食 料 品	262	10.1	237	9.9	▲ 9.5
10 飲 料 ・ 飼 料	30	1.2	27	1.1	▲ 10.0
11 織 維	676	26.1	611	25.6	▲ 9.6
12 木 材	82	3.2	74	3.1	▲ 9.8
13 家 具	59	2.3	58	2.4	▲ 1.7
14 パ ル プ ・ 紙	95	3.7	97	4.1	▲ 2.1
15 印 刷	113	4.4	111	4.6	▲ 1.8
16 化 学	56	2.2	57	2.4	▲ 1.8
17 石 油 ・ 石 炭	8	0.3	9	0.4	▲ 12.5
18 プ ラ ス チ ッ ク	132	5.1	121	5.1	▲ 8.3
19 ゴ ム	10	0.4	6	0.3	▲ 40.0
20 皮 革	3	0.1	3	0.1	0.0
21 窯 業 ・ 土 石	88	3.4	88	3.7	0.0
22 鉄 鋼	28	1.1	22	0.9	▲ 21.4
23 非 鉄 金 属	29	1.1	18	0.8	▲ 37.9
24 金 属	186	7.2	190	7.9	▲ 2.2
25 は ん 用 機 械	38	1.5	31	1.3	▲ 18.4
26 生 産 用 機 械	159	6.1	148	6.2	▲ 6.9
27 業 務 用 機 械	18	0.7	19	0.8	▲ 5.6
28 電 子 ・ デ バ イ ス	56	2.2	49	2.0	▲ 12.5
29 電 気 機 械	65	2.5	62	2.6	▲ 4.6
30 情 報 通 信 機 械	6	0.2	5	0.2	▲ 16.7
31 輸 送 機 械	32	1.2	27	1.1	▲ 15.6
32 そ の 他	356	13.8	321	13.4	▲ 9.8

図2 事業所数の中分類別構成比



2-2 従業者数（従業者4人以上の事業所）

従業者数は67,394人で、前年に比べ3.6%減となり、2年ぶりの減少となった。
内訳をみると、個人事業主および無給家族従業者が489人、常用労働者が66,905人となった。

産業別に内訳をみると、繊維の15,338人（構成比22.8%）が最も多く、以下、電子・デバイスの8,930人（構成比13.3%）、その他（眼鏡・漆器等）の5,615人（構成比8.3%）の順になった。前年と比べる（寄与度順）と、プラスチック（前年比+18.2%）、印刷（前年比+16.3%）など9業種で増加し、繊維（前年比▲9.5%）、電子・デバイス（前年比▲11.9%）など15業種で減少となった。

【産業中分類別統計表1-1、1-2】

図3 従業者数と対前回の推移（従業者4人以上の事業所）

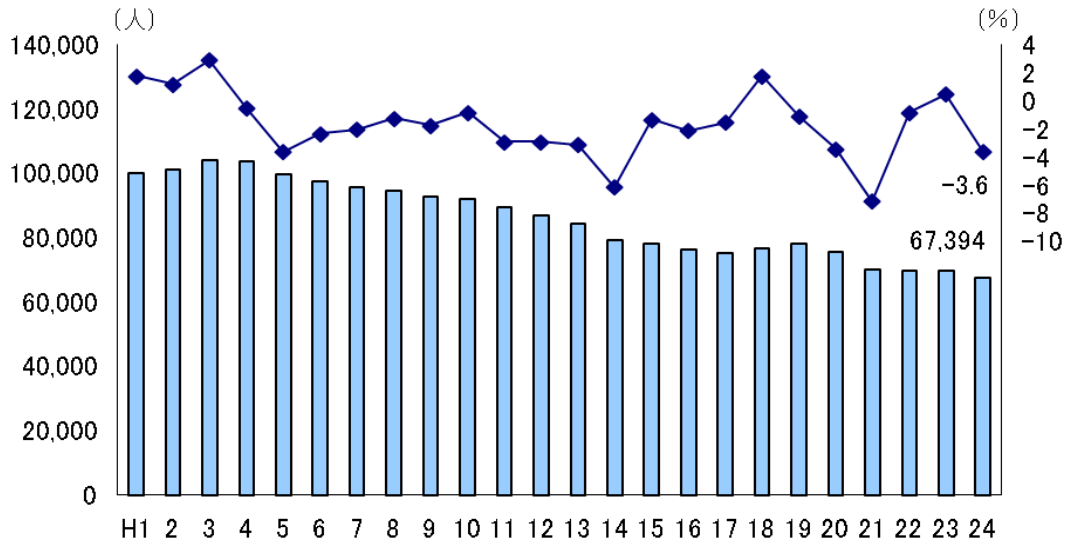
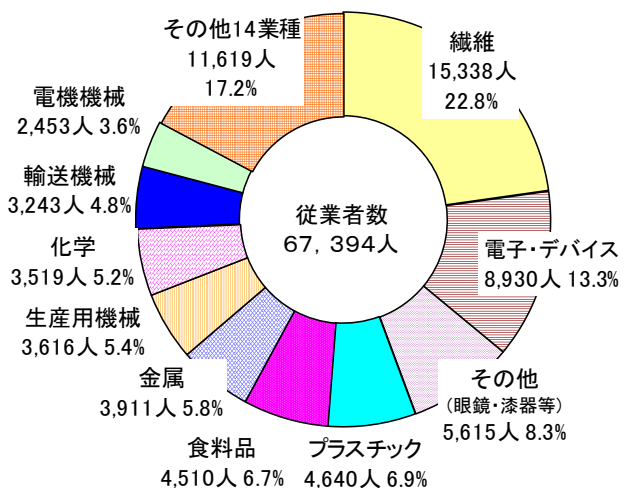


表3 中分類別 従業者数

産業中分類	23年		24年		対前年比 (%)
	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	
合計	69,891	100.0	67,394	100.0	▲ 3.6
9 食 料 品	5,169	7.4	4,510	6.7	▲ 12.7
10 飲 料・飼 料	298	0.4	284	0.4	▲ 4.7
11 織 維	16,942	24.2	15,338	22.8	▲ 9.5
12 木 材	1,085	1.6	1,010	1.5	▲ 6.9
13 家 具	777	1.1	937	1.4	20.6
14 パ ル プ・紙	1,565	2.2	1,839	2.7	17.5
15 印 刷	1,812	2.6	2,107	3.1	16.3
16 化 学	3,684	5.3	3,519	5.2	▲ 4.5
17 石 油・石 炭	69	0.1	74	0.1	7.2
18 プ ラ ス チ ッ ク	3,925	5.6	4,640	6.9	18.2
19 ゴ ム	146	0.2	154	0.2	5.5
20 皮 革	53	0.1	50	0.1	▲ 5.7
21 窯 業・土 石	1,664	2.4	1,939	2.9	16.5
22 鉄 鋼	498	0.7	408	0.6	▲ 18.1
23 非 鉄 金 属	1,449	2.1	1,247	1.9	▲ 13.9
24 金 属	3,763	5.4	3,911	5.8	3.9
25 は ん 用 機 械	702	1.0	593	0.9	▲ 15.5
26 生 産 用 機 械	3,404	4.9	3,616	5.4	6.2
27 業 務 用 機 械	915	1.3	704	1.0	▲ 23.1
28 電 子・デ バ イ ス	10,138	14.5	8,930	13.3	▲ 11.9
29 電 気 機 械	2,496	3.6	2,453	3.6	▲ 1.7
30 情 報 通 信 機 械	337	0.5	273	0.4	▲ 19.0
31 輸 送 機 械	3,297	4.7	3,243	4.8	▲ 1.6
32 そ の 他	5,703	8.2	5,615	8.3	▲ 1.5

図4 従業者数の中分類別構成比



2-3 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

製造品出荷額等は、1兆9,344億円で、前年に比べ1.1%増となり、3年連続増加となった。

内訳をみると、製造品出荷額が1兆6,684億円、加工賃収入額が1,534億円、くず・廃物の出荷額が7億円、修理料収入額が101億円、その他の収入額が1,018億円となった。

産業別に内訳をみると、化学の2,957億円（構成比15.3%）が最も多く、以下、電子・デバイスの2,839億円（構成比14.7%）、繊維の2,386億円（構成比12.3%）の順になった。

前年と比べる（寄与度順）と、電気機械（前年比+62.2%）、プラスチック（前年比+28.9%）など11業種で増加し、電子・デバイス（前年比▲18.7%）、繊維（前年比▲11.2%）など13業種で減少となった。

1事業所当たりの製造品出荷額等は、8億903万円で、前年より6,972万円増加した。

【産業中分類別統計表1-1、1-3】

図5 製造品出荷額等と対前年比の推移（従業者4人以上の事業所）

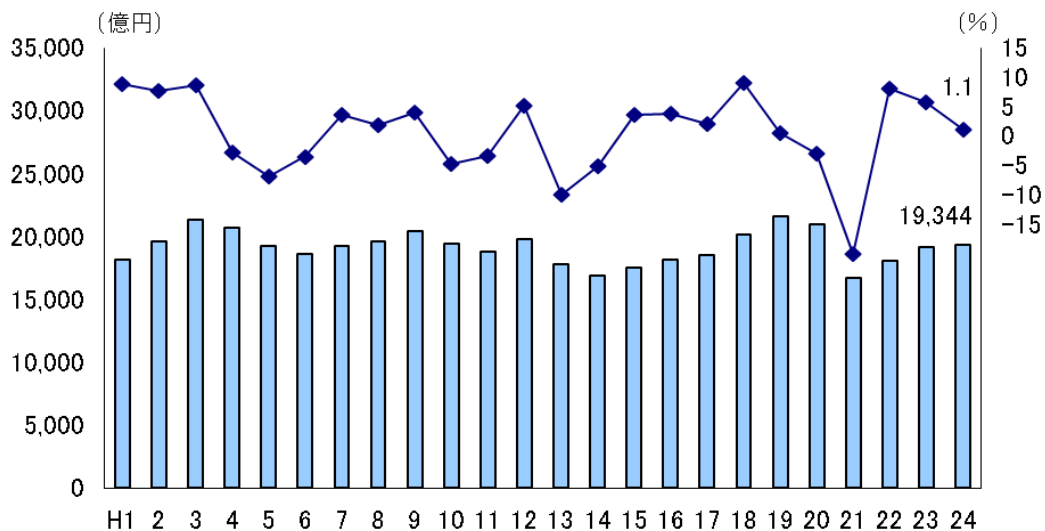
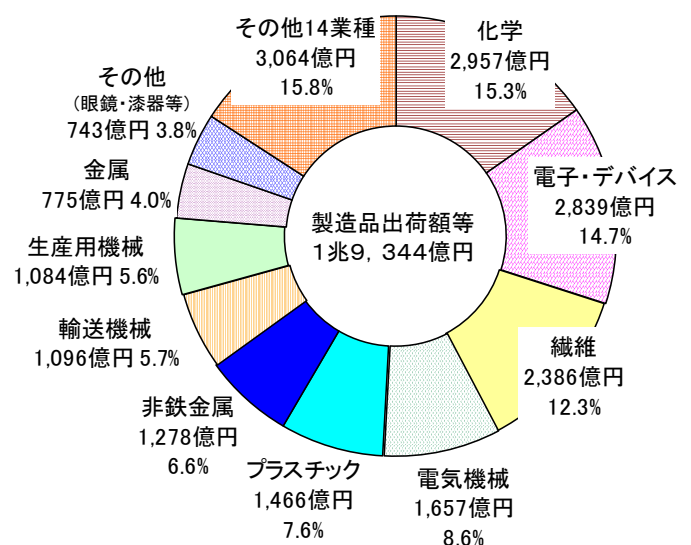


表4 中分類別 製造品出荷額等

産業中分類	23年		24年		対前年比
	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	
合計	1,912,585	100.0	1,934,383	100.0	▲ 1.1
9 食 料 品	59,504	3.1	57,882	3.0	▲ 2.7
10 飲 料 ・ 飼 料	5,954	0.3	5,425	0.3	▲ 8.9
11 織 維	268,708	14.0	238,578	12.3	▲ 11.2
12 木 材	23,182	1.2	23,874	1.2	3.0
13 家 具	10,822	0.6	14,276	0.7	31.9
14 パ ル プ ・ 紙	39,366	2.1	60,730	3.1	54.3
15 印 刷	25,255	1.3	29,985	1.6	18.7
16 化 学	316,793	16.6	295,663	15.3	▲ 6.7
17 石 油 ・ 石 炭	3,761	0.2	4,145	0.2	10.2
18 プ ラ ス チ ッ ク	113,710	5.9	146,571	7.6	28.9
19 ゴ ム	2,670	0.1	1,602	0.1	▲ 40.0
20 皮 革	355	0.0	324	0.0	▲ 8.8
21 窯 業 ・ 土 石	60,401	3.2	45,459	2.4	▲ 24.7
22 鉄 鋼	28,087	1.5	31,392	1.6	11.8
23 非 鉄 金 属	151,734	7.9	127,777	6.6	▲ 15.8
24 金 属	67,637	3.5	77,522	4.0	14.6
25 は ん 用 機 械	18,324	1.0	13,971	0.7	▲ 23.8
26 生 産 用 機 械	84,777	4.4	108,407	5.6	27.9
27 業 務 用 機 械	15,194	0.8	11,462	0.6	▲ 24.6
28 電 子 ・ デ バ イ ス	349,372	18.3	283,878	14.7	▲ 18.7
29 電 気 機 械	102,122	5.3	165,691	8.6	62.2
30 情 報 通 信 機 械	8,233	0.4	5,893	0.3	▲ 28.4
31 輸 送 機 械	78,026	4.1	109,591	5.7	40.5
32 そ の 他	78,597	4.1	74,289	3.8	▲ 5.5

図6 製造品出荷額等の中分類別構成比



2-4 粗付加価値額（従業者4人以上の事業所）

粗付加価値額は、8,029億円で、前年に比べ1.5%減となった。

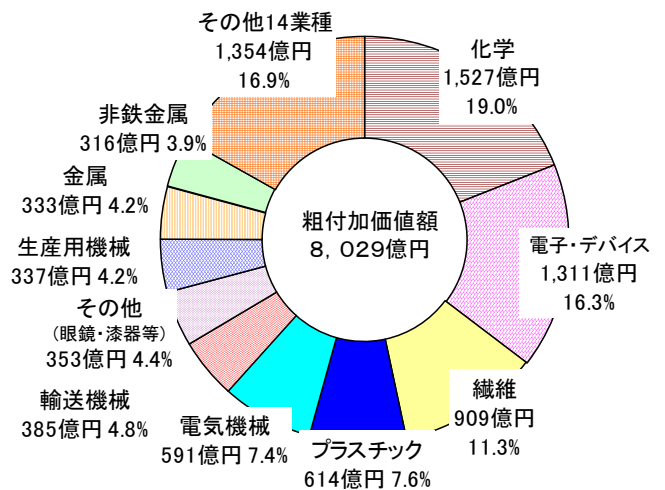
産業別に内訳をみると、化学の1,527億円（構成比19.0%）が最も多く、以下、電子・デバイスの1,311億円（構成比16.3%）、繊維の909億円（構成比11.3%）の順になった。

前年と比べると（寄与度順）と、化学（前年比+31.5%）、輸送機械（前年比+52.2%）など12業種で増加し、電子・デバイス（前年比▲32.5%）、繊維（前年比▲13.4%）など12業種で減少となった。
【産業中分類別統計表1-1】

表5 中分類別 粗付加価値額

産業中分類	23年		24年		対前 年比 %
	百万円	構成比 %	実数 百万円	構成比 %	
合 計	815,068	100.0	802,911	100.0	▲ 1.5
9 食 料 品	24,298	3.0	22,963	2.9	▲ 5.5
10 飲 料・飼 料	3,455	0.4	2,927	0.4	▲ 15.3
11 織 維	104,875	12.9	90,868	11.3	▲ 13.4
12 木 材	8,994	1.1	10,899	1.4	21.2
13 家 具	4,291	0.5	7,008	0.9	63.3
14 パ ル プ・紙	18,071	2.2	27,487	3.4	52.1
15 印 刷	12,532	1.5	15,814	2.0	26.2
16 化 学	116,100	14.2	152,689	19.0	31.5
17 石 油・石 炭	933	0.1	1,443	0.2	54.8
18 プ ラ ス チ ッ ク	51,345	6.3	61,377	7.6	19.5
19 ゴ ム	1,639	0.2	791	0.1	▲ 51.8
20 皮 革	126	0.0	99	0.0	▲ 21.4
21 窯 業・土 石	32,498	4.0	20,947	2.6	▲ 35.5
22 鉄 鋼	7,668	0.9	12,494	1.6	62.9
23 非 鉄 金 属	37,533	4.6	31,648	3.9	▲ 15.7
24 金 属	28,456	3.5	33,328	4.2	17.1
25 は ん 用 機 械	6,646	0.8	5,740	0.7	▲ 13.6
26 生 産 用 機 械	33,553	4.1	33,652	4.2	0.3
27 業 務 用 機 械	8,150	1.0	4,671	0.6	▲ 42.7
28 電 子・デ バ イ ス	194,243	23.8	131,053	16.3	▲ 32.5
29 電 気 機 械	52,866	6.5	59,103	7.4	11.8
30 情 報 通 信 機 械	2,733	0.3	2,072	0.3	▲ 24.2
31 輸 送 機 械	25,314	3.1	38,535	4.8	52.2
32 そ の 他	38,751	4.8	35,301	4.4	▲ 8.9

図7 粗付加価値額の中分類別構成比



2-5 付加価値額（従業者4人以上の事業所）

付加価値額は、7,269億円で、前年に比べ3.1%減となった。

産業別に内訳をみると、化学の1,419億円（構成比19.5%）が最も多く、以下、電子・デバイスの1,101億円（構成比15.1%）、繊維の814億円（構成比11.2%）の順になった。

前年と比べる（寄与度順）と、化学（前年比+28.0%）、輸送機械（前年比+53.4%）など11業種で増加し、電子・デバイス（前年比▲37.1%）、繊維（前年比▲12.9%）など13業種で減少となった。

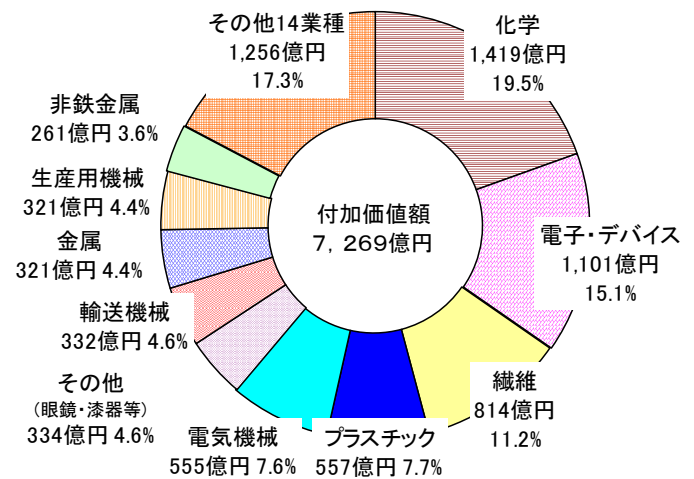
また、従業者30人以上の事業所の付加価値率は、39.2%となり、前年より0.6ポイント低下した。

【産業中分類別統計表1-1、3-3】

表6 中分類別 付加価値額

産業中分類	23年		24年		対前 年比 %
	百万円	構成比 %	実数 百万円	構成比 %	
合 計	750,036	100.0	726,901	100.0	▲ 3.1
9 食 料 品	23,524	3.1	22,256	3.1	▲ 5.4
10 飲 料・飼 料	3,371	0.4	2,862	0.4	▲ 15.1
11 織 維	93,383	12.5	81,364	11.2	▲ 12.9
12 木 材	8,382	1.1	10,776	1.5	28.6
13 家 具	4,182	0.6	6,951	1.0	66.2
14 パ ル プ・紙	16,639	2.2	24,588	3.4	47.8
15 印 刷	11,781	1.6	15,021	2.1	27.5
16 化 学	110,823	14.8	141,887	19.5	28.0
17 石 油・石 炭	933	0.1	1,443	0.2	54.8
18 プ ラ ス チ ッ ク	47,423	6.3	55,674	7.7	17.4
19 ゴ ム	1,469	0.2	788	0.1	▲ 46.4
20 皮 革	120	0.0	94	0.0	▲ 21.3
21 窯 業・土 石	27,053	3.6	17,214	2.4	▲ 36.4
22 鉄 鋼	7,423	1.0	11,974	1.6	61.3
23 非 鉄 金 属	33,548	4.5	26,071	3.6	▲ 22.3
24 金	26,877	3.6	32,092	4.4	19.4
25 は ん 用 機 械	6,371	0.8	5,274	0.7	▲ 17.2
26 生 産 用 機 械	34,125	4.5	32,081	4.4	▲ 6.0
27 業 務 用 機 械	7,780	1.0	4,523	0.6	▲ 41.9
28 電 子・デ バ イ ス	174,909	23.3	110,068	15.1	▲ 37.1
29 電 気 機 械	48,300	6.4	55,478	7.6	14.9
30 情 報 通 信 機 械	2,433	0.3	1,877	0.3	▲ 22.8
31 輸 送 機 械	21,614	2.9	33,151	4.6	53.4
32 そ の 他	37,576	5.0	33,395	4.6	▲ 11.1

図8 付加価値額の中分類別構成比



2-6 現金給与総額（従業者4人以上の事業所）

現金給与総額は、2,768億円で、前年に比べ0.4%減となった。

産業別に内訳をみると、電子・デバイスの609億円（構成比22.0%）が最も多く、以下、繊維の457億円（構成比16.5%）、化学の187億円（構成比6.8%）の順になった。

前年と比べる（寄与度順）と、生産用機械（前年比+19.7%）、プラスチック（前年比+16.3%）など12業種で増加し、繊維（前年比▲11.4%）、化学（前年比▲10.7%）など12業種で減少となった。

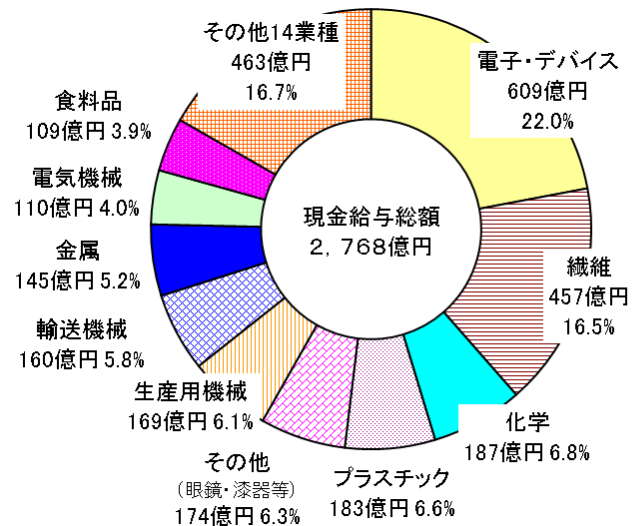
また、従業者30人以上の事業所の現金給与率は、14.2%で、前年と同じとなった。

【産業中分類別統計表1-1、3-3】

表7 中分類別 現金給与総額

産業中分類	23年		24年		対前 年比 %
	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	
合 計	277,875	100.0	276,765	100.0	▲ 0.4
9 食 料 品	12,161	4.4	10,931	3.9	▲ 10.1
10 飲 料 ・ 飼 料	908	0.3	822	0.3	▲ 9.5
11 織 維	51,611	18.6	45,727	16.5	▲ 11.4
12 木 材	3,460	1.2	3,224	1.2	▲ 6.8
13 家 具	2,360	0.8	2,891	1.0	22.5
14 パ ル プ ・ 紙	5,983	2.2	6,940	2.5	16.0
15 印 刷	6,812	2.5	6,997	2.5	2.7
16 化 学	20,944	7.5	18,702	6.8	▲ 10.7
17 石 油 ・ 石 炭	335	0.1	355	0.1	5.9
18 プ ラ ス チ ッ ク	15,751	5.7	18,311	6.6	16.3
19 ゴ ム	377	0.1	638	0.2	69.4
20 皮 革	81	0.0	88	0.0	8.0
21 窯 業 ・ 土 石	7,576	2.7	8,809	3.2	16.3
22 鉄 鋼	2,169	0.8	1,739	0.6	▲ 19.8
23 非 鉄 金 属	8,967	3.2	7,827	2.8	▲ 12.7
24 金 属	14,192	5.1	14,496	5.2	2.1
25 は ん 用 機 械	2,885	1.0	2,130	0.8	▲ 26.2
26 生 産 用 機 械	14,159	5.1	16,945	6.1	19.7
27 業 務 用 機 械	3,209	1.2	2,829	1.0	▲ 11.8
28 電 子 ・ デ バ イ ス	58,892	21.2	60,947	22.0	3.5
29 電 気 機 械	10,024	3.6	10,992	4.0	9.7
30 情 報 通 信 機 械	1,277	0.5	998	0.4	▲ 21.8
31 輸 送 機 械	16,285	5.9	16,032	5.8	▲ 1.6
32 そ の 他	17,459	6.3	17,395	6.3	▲ 0.4

図9 現金給与総額の
中分類別構成比



2-7 原材料使用額等（従業者4人以上の事業所）

原材料使用額等は、1兆997億円で、前年に比べ1.7%増となった。

産業別に内訳をみると、電子・デバイスの1,488億円（構成比13.5%）が最も多く、以下、繊維の1,439億円（構成比13.1%）、化学の1,375億円（構成比12.5%）の順になった。

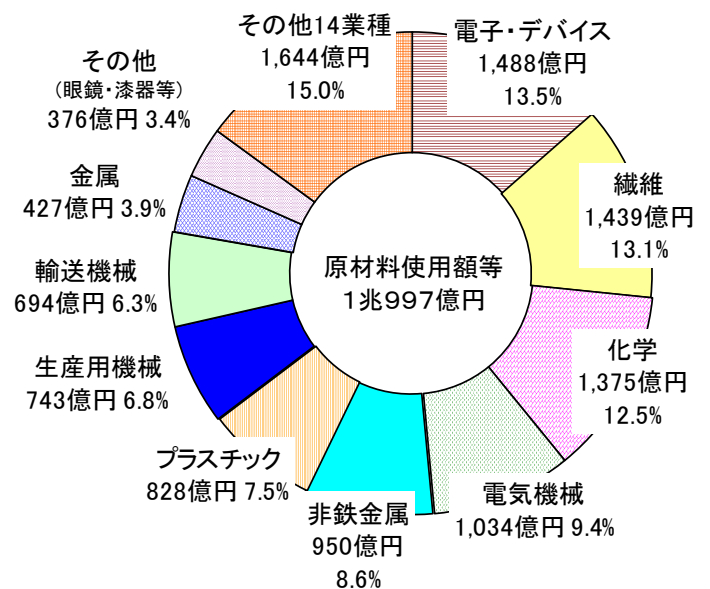
前年と比べる（寄与度順）と、電気機械（前年比+119.4%）、生産用機械（前年比+47.0%）など8業種で増加し、化学（前年比▲30.8%）、非鉄金属（前年比▲15.6%）など16業種で減少となった。また、従業者30人以上の事業所の原材料率は、62.7%となり、前回より2.2ポイント上昇した。

【産業中分類別統計表1-1、3-3】

表8 中分類別 原材料使用額等

産業中分類	23年		24年		対前 年比 %
	百万円	構成比 %	実数 百万円	構成比 %	
合 計	1,081,028	100.0	1,099,735	100.0	1.7
9 食 料 品	34,521	3.2	33,815	3.1	▲ 2.0
10 飲 料・飼 料	2,003	0.2	1,972	0.2	▲ 1.5
11 織 維	161,239	14.9	143,864	13.1	▲ 10.8
12 木 材	13,992	1.3	12,435	1.1	▲ 11.1
13 家 具	6,432	0.6	6,924	0.6	7.6
14 パ ル プ・紙	20,993	1.9	31,964	2.9	52.3
15 印 刷	12,243	1.1	13,460	1.2	9.9
16 化 学	198,794	18.4	137,525	12.5	▲ 30.8
17 石 油・石 炭	2,796	0.3	2,629	0.2	▲ 6.0
18 プ ラ ス チ ャ ッ ク	61,519	5.7	82,753	7.5	34.5
19 ゴ ム	982	0.1	752	0.1	▲ 23.4
20 皮 革	223	0.0	220	0.0	▲ 1.3
21 窯 業・土 石	27,581	2.6	23,584	2.1	▲ 14.5
22 鉄 鋼	20,195	1.9	18,310	1.7	▲ 9.3
23 非 鉄 金 属	112,511	10.4	94,956	8.6	▲ 15.6
24 金 属	38,451	3.6	42,673	3.9	11.0
25 は ん 用 機 械	11,450	1.1	8,084	0.7	▲ 29.4
26 生 産 用 機 械	50,537	4.7	74,311	6.8	47.0
27 業 務 用 機 械	6,821	0.6	6,576	0.6	▲ 3.6
28 電 子・デ バ イ ス	153,882	14.2	148,824	13.5	▲ 3.3
29 電 気 機 械	47,121	4.4	103,379	9.4	119.4
30 情 報 通 信 機 械	5,378	0.5	3,720	0.3	▲ 30.8
31 輸 送 機 械	52,659	4.9	69,449	6.3	31.9
32 そ の 他	38,707	3.6	37,554	3.4	▲ 3.0

図10 原材料使用額等の
中分類別構成比



2-8 従業者規模別（従業者4人以上の事業所）

事業所数が最も多いのは、4～9人規模の1,084事業所（構成比45.3%）で、次に10～19人規模の614事業所（構成比25.7%）となった。

前年と比べる（寄与度順）と、20～29人規模（前年比+14.1%）、300人以上規模（前年比+26.3%）、で増加し、4～9人規模（前年比▲15.2%）、30～99人規模（前年比▲8.8%）などで減少となった。

従業者数が最も多いのは、30～99人規模の16,327人（構成比24.2%）で、次に300人以上規模の15,545人（構成比23.1%）となった。

前年と比べる（寄与度順）と、300人以上規模（前年比+8.7%）、20～29人規模（前年比+13.1%）で増加し、100～299人規模（前年比▲12.0%）、30～99人規模（前年比▲8.8%）などで減少となった。

製造品出荷額等が最も多いのは、300人以上規模の7,869億円（構成比40.7%）で、次に、100～299人規模の4,454億円（構成比23.0%）となった。

前年と比べる（寄与度順）と、300人以上規模（前年比+30.4%）、20～29人規模（前年比+1.8%）で増加し、100～299人規模（前年比▲22.3%）、30～99人規模（前年比▲6.7%）などで減少となった。

【従業者規模別統計表1-1】

図11 従業者規模別 事業所数構成比の推移（従業者4人以上の事業所）

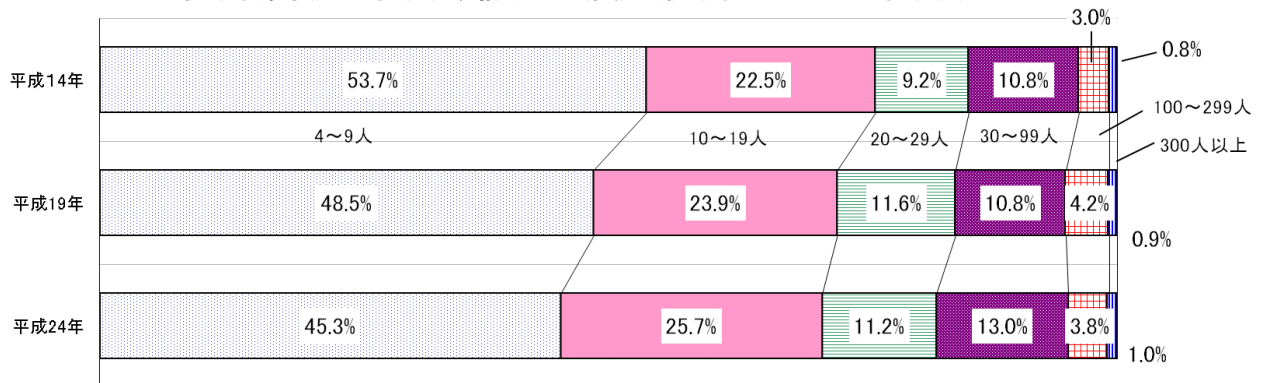


図12 従業者規模別 従業者数構成比の推移（従業者4人以上の事業所）

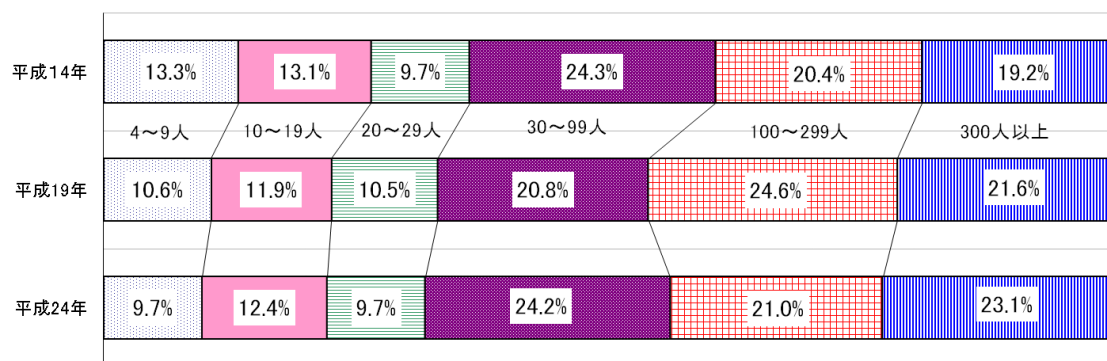
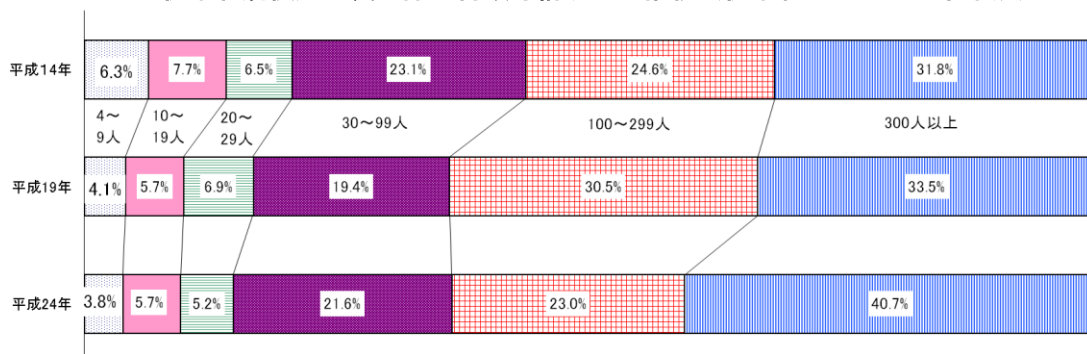


図13 従業者規模別 製造品出荷額等構成比の推移（従業者4人以上の事業所）



2-9 市町別（従業者4人以上の事業所）

事業所数が最も多いのは、福井市の621事業所（構成比26.0%）で、以下、鯖江市の400事業所（構成比16.7%）、坂井市の363事業所（構成比15.2%）の順となった。

前年と比べる（寄与度順）と、美浜町（前年比+11.8%）など4町で増加し、福井市（前年比▲10.9%）、越前市（前年比▲10.2%）など8市2町で減少となった。（大野市、高浜町、おおい町は増減なし。）

従業者数が最も多いのは、福井市の15,993人（構成比23.7%）で、以下、越前市の13,829人（構成比20.5%）、坂井市の9,403人（構成比14.0%）の順となった。

前年と比べる（寄与度順）と、あわら市（前年比+7.8%）、大野市（前年比+5.4%）など3市5町で増加し、福井市（前年比▲5.9%）、越前市（前年比▲3.4%）など6市3町で減少となった。

製造品出荷額等が最も多いのは、越前市の4,709億円（構成比24.3%）で、以下、福井市の3,639億円（構成比18.8%）、坂井市の3,160億円（構成比16.3%）の順となった。

前年と比べる（寄与度順）と、越前市（前年比+13.5%）、あわら市（前年比+31.1%）など3市6町で増加し、福井市（前年比▲14.4%）、鯖江市（前年比▲6.0%）など6市2町で減少となった。

【市町別統計表1-1】

図14 市町別 事業所数の構成比
（従業者4人以上の事業所）

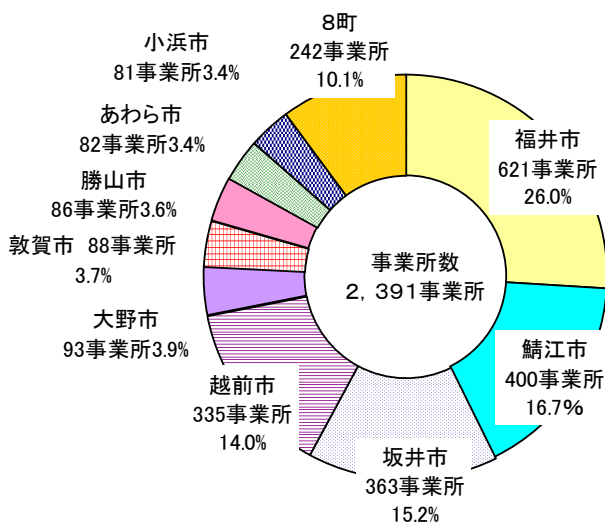


図15 市町別 従業者数の構成比
（従業者4人以上の事業所）

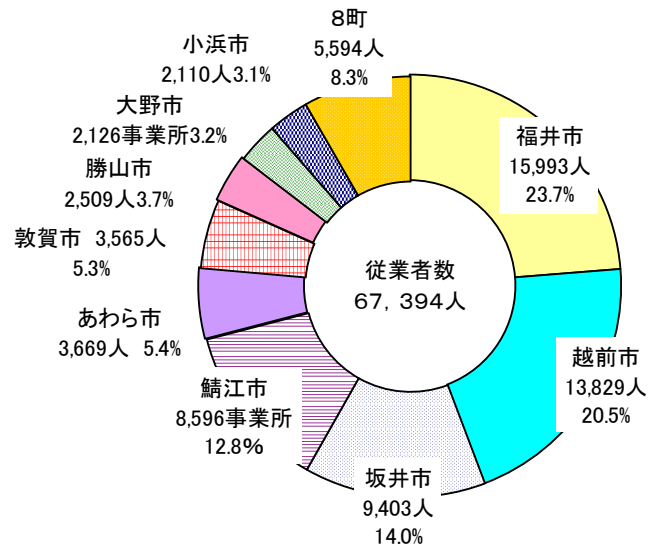
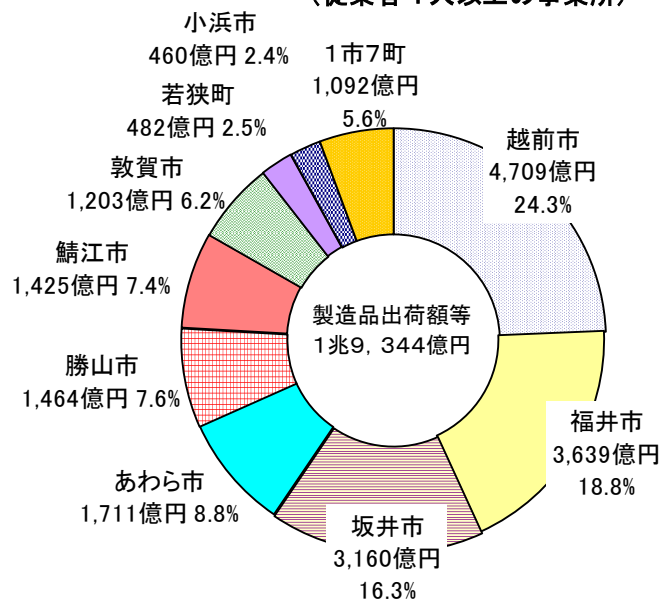


図16 市町別 製造品出荷額等の構成比
（従業者4人以上の事業所）



2-10 特産工業品（従業者4人以上の事業所）

産出事業所数は624事業所で、製造品出荷額等は973億円となった。

品目別にみると、産出事業所数では「眼鏡・眼鏡枠」が最も多く、以下、「絹・人絹織物」、「漆器」の順となった。

製造品出荷額等では「眼鏡・眼鏡枠」が最も多く、以下、「絹・人絹織物」、「細幅織物」の順となった。

【特産工業品目統計表1】

表9 特産工業品 産出事業所数の推移

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
絹・人絹織物	213	212	199	185	168	152	141
細幅織物	106	101	100	86	86	92	78
洋紙・和紙・ふすま紙	46	50	42	41	45	41	43
打刃物	14	14	14	9	11	10	11
漆器	95	90	90	84	85	80	85
眼鏡・眼鏡枠	320	309	328	281	271	282	266
合計	794	776	773	686	666	657	624

表10 特産工業品 製造品出荷額等の推移

(単位:億円)

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
絹・人絹織物	412	451	427	312	282	286	269
細幅織物	160	132	134	102	107	127	111
洋紙・和紙・ふすま紙	61	56	30	27	28	27	25
打刃物	4	5	5	5	4	4	4
漆器	52	50	60	54	51	51	48
眼鏡・眼鏡枠	699	701	703	575	534	507	516
合計	1,389	1,395	1,359	1,075	1,006	1,002	973

※ 本県の特産工業品として、「絹・人絹織物」、「細幅織物」、「洋紙・和紙・ふすま紙」、「打刃物」、「漆器」、「眼鏡・眼鏡枠」の6品目を集計した。

なお、本表では事業所において複数の種類の品目を製造あるいは賃加工している場合は、それぞれの品目で1事業所として「産出事業所数」を計上しているため、主要な製造品目ごとに事業所数を計上する産業中・細分類別統計表等の数値とは一致しない。

3-1 有形固定資産（従業者30人以上の事業所）

有形固定資産の年初現在高は、4,874億円で、年間取得額は、692億円となった。建設仮勘定の年間増減額は、+124億円となり、有形固定資産投資額は、816億円となった。

有形固定資産投資額を産業別で見ると、電子・デバイスの230億円が最も多く、以下、化学の162億円、繊維の87億円の順になった。【産業中分類別統計表3-3、3-4】

3-2 製造品等在庫額（従業者30人以上の事業所）

製造品等在庫額の年末在庫額は、2,200億円で、年間在庫増減額は、▲70億円となった。年末在庫額を産業別で見ると、電気機械の470億円が最も多く、以下、化学の383億円、電子・デバイスの279億円の順になった。

なお、在庫率は14.5%となり、前年より3.2ポイント増加した。

【産業中分類別統計表3-5、3-7】

3-3 工業用地、用水（従業者30人以上の事業所）

工業用地敷地面積は1,236万 m^2 で、前年に比べ41万 m^2 増となった。

産業別に内訳をみると、繊維の327万 m^2 が最も多く、以下、化学の158万 m^2 、非鉄金属の136万 m^2 の順となっている。

市町別に内訳をみると、坂井市の273万 m^2 が最も多く、以下、福井市の245万 m^2 、越前市の169万 m^2 の順となっている。【用地・用水統計表1-1、1-3】

工業用水の1日当りの使用量は74万 m^3 で、前年に比べ1万 m^3 増となった。

1日当たりの水源別用水量では、回収水の44万 m^3 が最も多く、以下、井戸水の20万 m^3 、工業用水道の7万 m^3 の順となっている。

1日当たりの用途別用水量では、冷却用水・温調用水の56万 m^3 が最も多く、以下、製品処理・洗じょう用水の13万 m^3 、その他の3万 m^3 の順となっている。【用地・用水統計表1-2】